

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

151-486

事務事業名	観光施設管理事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	産業経済部	課等名	観光課		包含する細々目	1	7	1	4	10	1	9,714
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり											
施策	13 地域内産業の多様な連携											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	地域経済活性化プログラム						
		事業期間	16	年度～	年度	関連計画条例等						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	飯田市が所有する観光施設	維持補修する観光施設数:カ所	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	30
			6			
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
魅力ある観光地を整備する	整備された施設:数	18目標	6	最終目標		
		18実績	6	19目標	8	
		23目標	8	23実績		
		18目標		最終目標		
		18実績		19目標		
		23目標		23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	観光地の遊歩道等の維持管理に加えトイレの適切な清掃業務。その他観光施設の維持を通じて地域団体の保護育成を図る。 団塊の世代の山岳観光指向に対応するために遊歩道や登山道などを維持する。	18年度の実績 ・登山道及び遊歩道の維持管理 ・観光地トイレの維持管理 ・観光施設用地の確保 ・天竜峡事務所及び飯田インター事務所の維持管理	対象となった施設箇所	6
	19年度計画 ・中央アルプスを中心とした登山道及び遊歩道の維持(維持賃金) ・観光地トイレの維持管理(委託料・光熱水費・火災保険料・汲取り) ・観光施設の経費(駅前案内所電話) ・観光施設用地の確保(賃借料)	対象となった施設箇所	6	

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	国庫支出金		
	特定財源		
	起債		
	その他		
	一般財源	11,153	9,714
	事業費計(A)	11,153	9,714
人件費	正規職員所要時間	18年度 350	19年度 350
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	1,252	1,252
	トータルコストA+B	12,405	10,966

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムツ指標)と単位	上位成果指標の数値			
	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり。	観光消費額(億円)	現状値	145	19実績	150
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	184
	経済自立度(%)		現状値		19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
飯田市の観光施設を優良に維持管理をしながら、天竜峡事務所と飯田インターの事務所機能を活用する。施設の管理を通して関係する団体や人材を育成しながら、地元の資源を大切に受け継ぐ体制作りを進める。		施設の管理については、市民の見る目も非常に厳しくなっている。地域に密着しながら、少ない費用で質の高い管理などを求められている。

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) 統合不可能 (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由)		効果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 不可能 (その理由)
	施設の善な維持管理により魅力ある観光施設整備が推進され、誘客や魅力度がアップする。	飯田市が所有する施設を良好に維持管理することは飯田市の業務である。		観光に関する地域内の組織や個人を育成することにより、効率的に事業を推進することができる。資源の有効活用につながる。	観光地としての魅力度が下がる。
				担当者1名であり不可能である。	
				受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由) 観光客

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	平成18年度以降に新設する施設などでは、電気・水道など経常経費が削減できる設備等を設計段階から織り込んでいく。また、管理しやすい構造や配置なども計画段階から徹底して見直す。

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	